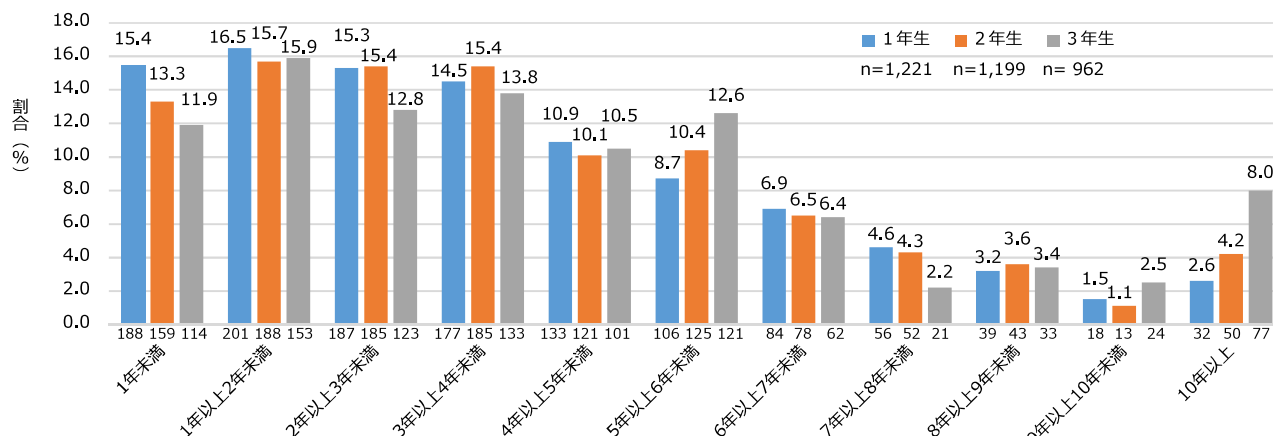
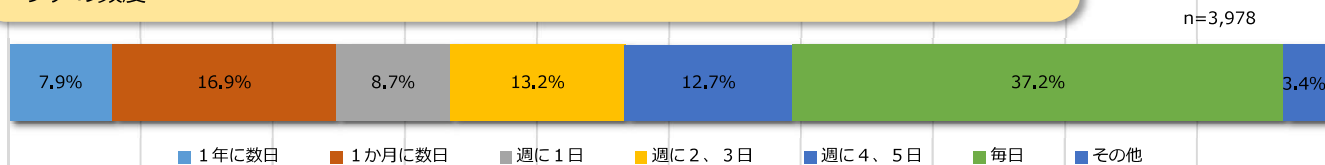


ケアの期間



・ケアをしてきた期間を尋ねた結果、平均 3 年 9 か月、最長で 15 年 4 か月（生まれてからずっとの意と考えられる）であった。中央値は 3 年 0 か月であり、半数は 3 年以内であったが、10 年以上の期間を回答した者もいた。
 ・学年別にみると、1 年生で 1 年以上の期間を回答した者は 84.6%、2 年生で 2 年以上の期間を回答した者は 71.1%、3 年生で 3 年以上の期間を回答した者は 59.5%であり、小学生のときからケアをしていた者が相当数いると考えられた。
 ・また、1 年生で 4 年以上の期間を回答した者は 38.3%、2 年生で 5 年以上の期間を回答した者は 30.1%、3 年生で 6 年以上の期間を回答した者は 22.6%であり、小学校低学年のときからケアを担っている者も少なからず存在することが確認された。

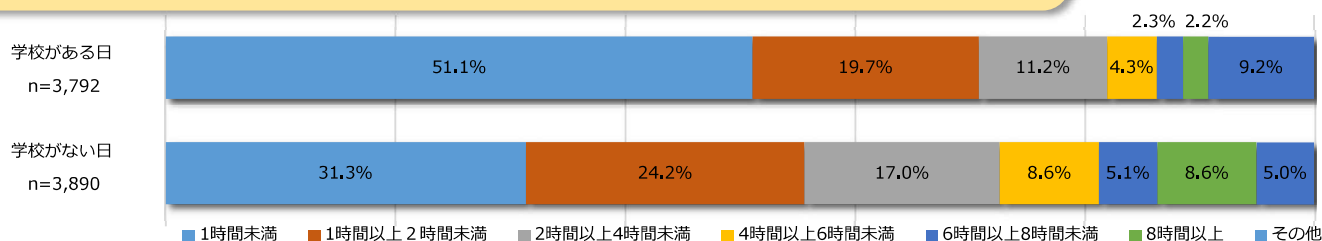
ケアの頻度



頻度	1年に数日	1か月に数日	週に1日	週に2、3日	週に4、5日	毎日	その他
回答数	313人	671人	347人	527人	505人	1,479人	136人
割合	7.9%	16.9%	8.7%	13.2%	12.7%	37.2%	3.4%

・毎日が最も多く約 4 割 (37.2%) を占め、次いで 1 ヶ月に数日 (16.9%)、週に 2、3 日 (13.2%)、週に 4、5 日 (12.7%) と続いた。毎日と週に 4、5 日を合わせると、約 5 割が毎日のようにケアをしていると回答していた。

ケアの時間

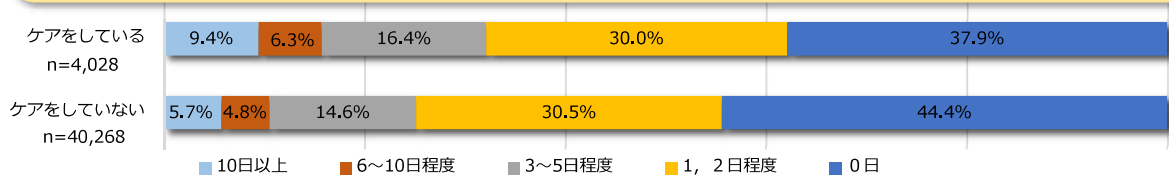


	時間	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上4時間未満	4時間以上6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上	その他
学校がある日	回答数	1,938人	748人	426人	164人	86人	83人	347人
	割合	51.1%	19.7%	11.2%	4.3%	2.3%	2.2%	9.2%
学校がない日	回答数	1,219人	943人	662人	336人	199人	335人	196人
	割合	31.3%	24.2%	17.0%	8.6%	5.1%	8.6%	5.0%

・学校がある日は「1 時間未満」が最も多く約半数を占め (51.1%)、次いで「1 時間以上 2 時間未満」(19.7%)、「2 時間以上 4 時間未満」(11.2%) と続いた。学校がない日においても、「1 時間未満」が最も多く (31.3%)、次いで「1 時間以上 2 時間未満」が (24.2%)、「2 時間以上 4 時間未満」(17.0%) と続いた。

学校生活の状況

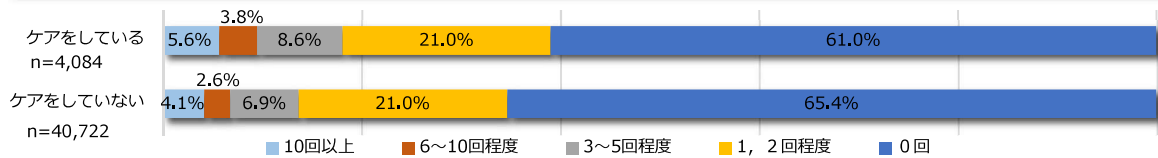
令和3年度の1学期に学校を欠席したことは何日ありましたか



	日数	10日以上	6~10日程度	3~5日程度	1, 2日程度	0日
ケアをしている	回答数	379人	252人	660人	1,210人	1,527人
	割合	9.4%	6.3%	16.4%	30.0%	37.9%
ケアをしていない	回答数	2,312人	1,924人	5,864人	12,279人	17,889人
	割合	5.7%	4.8%	14.6%	30.5%	44.4%

・ケアをしている者の方がしていない者よりも欠席の日数について、多い傾向がみられた。

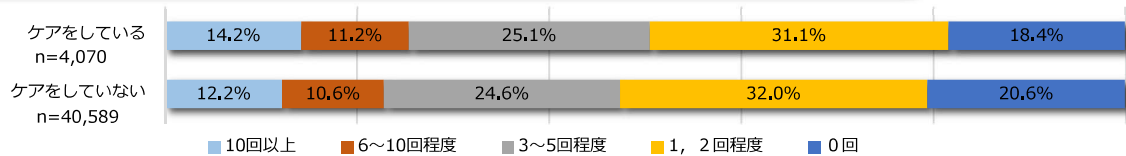
令和3年度の1学期に学校を遅刻したことは何回ありましたか



	回数	10回以上	6~10回程度	3~5回程度	1, 2回程度	0回
ケアをしている	回答数	228人	154人	351人	859人	2,492人
	割合	5.6%	3.8%	8.6%	21.0%	61.0%
ケアをしていない	回答数	1,687人	1,048人	2,810人	8,539人	26,638人
	割合	4.1%	2.6%	6.9%	21.0%	65.4%

・ケアをしていると回答した者の方が遅刻の日数が多い傾向がみられた。

令和3年度の1学期に宿題を忘れたことは何回ありましたか

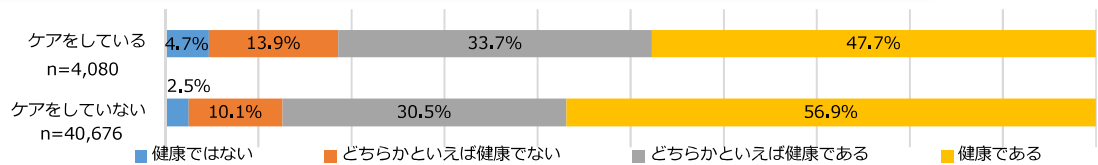


	回数	10回以上	6~10回程度	3~5回程度	1, 2回程度	0回
ケアをしている	回答数	577人	456人	1,023人	1,267人	747人
	割合	14.2%	11.2%	25.1%	31.1%	18.4%
ケアをしていない	回答数	4,954人	4,297人	9,987人	12,994人	8,357人
	割合	12.2%	10.6%	24.6%	32.0%	20.6%

・ケアをしていると回答した者の方が宿題忘れの回数が多い傾向がみられた。

健康感

過去30日間をふりかっ、あなたの健康状態は

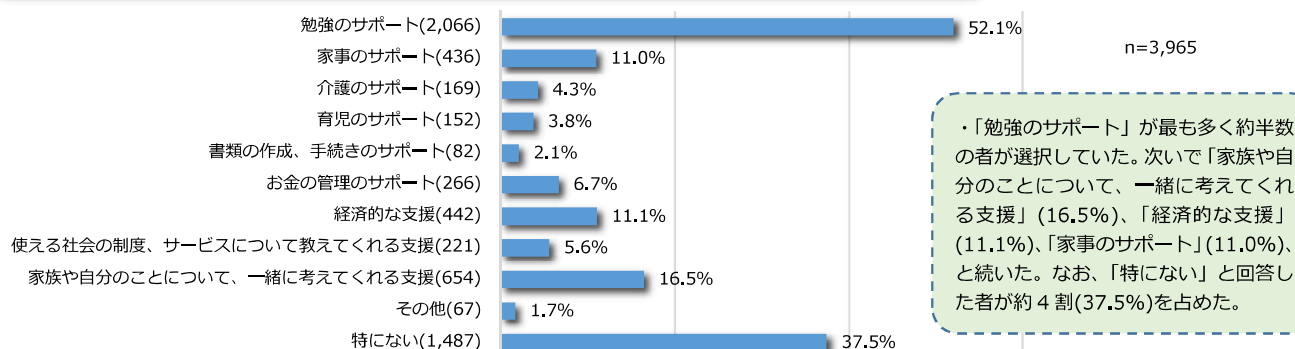


	状態	健康ではない	どちらかといえば健康でない	どちらかといえば健康である	健康である
ケアをしている	回答数	192人	567人	1,376人	1,945人
	割合	4.7%	13.9%	33.7%	47.7%
ケアをしていない	回答数	999人	4,115人	12,402人	23,160人
	割合	2.5%	10.1%	30.5%	56.9%

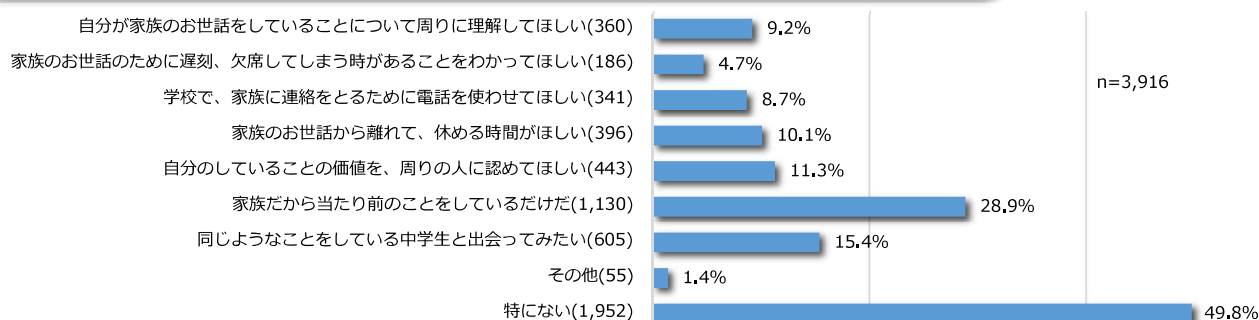
・ケアをしている者の方がケアをしていない者よりも、全体的な健康感は低い傾向がみられた。

悩みや困りごと

あなたが、今、ほしいと思うサポートや支援（複数選択あり）

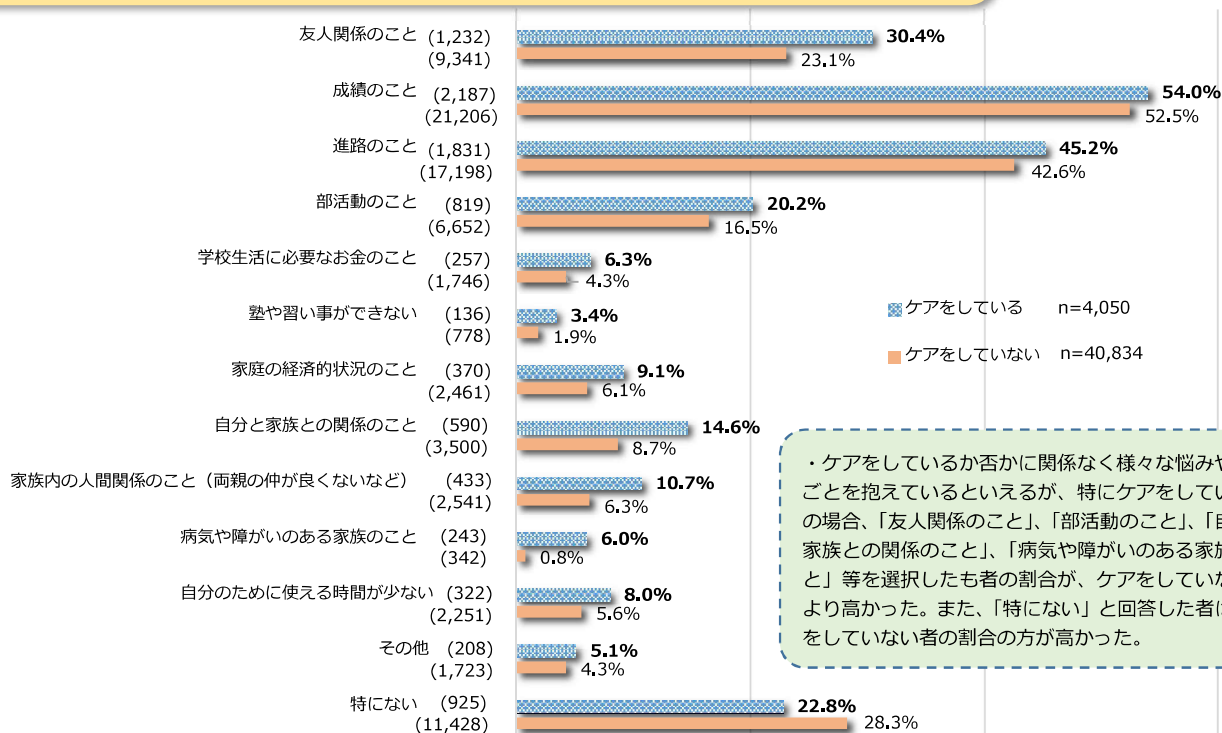


あなたが、介護、お手伝い、精神的サポートをしてきて、学校、社会、周囲の人などに対して思ったことがあること（複数選択あり）



・「特にない」が最も多く（49.8%）、次いで「家族だから当たり前のことをしているだけだ」（28.9%）、「同じようなことをしている中学生と出会ってみたい」（15.4%）、「自分のしていることの価値を、周りの人に認めてほしい」（11.3%）、「家族のお世話から離れて、休める時間がほしい」（10.1%）と続いた。

ケアの有無による悩みや困りごとについて（複数選択あり）



調査結果の概要（まとめ）

◆ ヤングケアラーの存在割合

- ・ケアを要する家族がいる、自分がその人のケアを担っていると回答した者をヤングケアラーとみなした場合、ヤングケアラーの存在割合は9.1%であった。ただし、負荷がそれほど大きくないヤングケアラーも多く含まれていると考えられる。
- ・学年別では、3年生において存在割合が最も低く（7.9%）、性別では、男性よりも女性（11.3%）に多く、家族形態では、ひとり親の家庭（10.9%）で存在割合が高い傾向がみられた。

◆ ケアを要する家族とその状態及びケアの内容

- ・ケアの相手は、弟・妹（37.0%）、祖母（31.3%）、祖父（19.1%）、母（13.9%）、兄・姉（7.1%）、父（6.6%）等であった。
- ・弟・妹は幼いため世話が必要である、もしくは障がいを持っている状態が多く、祖父母は高齢である、認知症、身体的機能の低下がみられる状態にあるものが多かった。父母の場合は病気や障がいを有するケースが多く、特に母の特徴として精神障がい等がある、父親の特徴として何らかの依存症であるケースが多かった。さらに今回は、日本語が苦手なケースも多く、外国にルーツのある家族のケアをするヤングケアラーの存在も確認された。
- ・ケアの内容は、「話し相手」が最も多く、「見守り」、「年下のきょうだいの世話、遊び相手」、「家事」と続いた。

◆ ケアの期間、頻度と時間

- ・ケアの期間をみると、小学校低学年のときからケアを担っている者も少なからず存在することが確認された。
- ・ケアの頻度は「毎日」が最も多く約4割、「週4、5日」と合わせるとほぼ毎日と回答した者が約5割になった。
- ・ケアの時間は学校のある日、ない日ともに「1時間未満」が最も多かったが、「8時間以上」と回答した者もいた。学校がない日の方が長時間になる傾向がみられた。

◆ 健康感と学校生活

- ・ケアをしている者の方が、欠席の日数や遅刻、宿題忘れの回数が多い傾向がみられ、友人関係、部活動、自分と家族との関係のことといった悩みを抱えている者が多かった。
- ・ケアをしている者の方が、全体的な健康感が低い傾向がみられた。

◆ 悩みや困りごと

- ・ほしいサポートや支援については、勉強のサポートが最も多く（52.1%）、家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援（16.5%）、経済的な支援（11.1%）、家事のサポート（11.0%）等が挙げられた。「特にない」と回答した者が4割近くにのぼった。
- ・学校、社会、周囲に対して思うこととして、家族だから当たり前のことをしているだけだ（28.9%）、同じようなことをしている中学生と出会ってみたい（15.4%）、自分のしていることの価値を周りの人に認めてほしい（11.3%）、家族のお世話から離れて、休める時間がほしい（10.1%）等が挙げられた。

◆ 報告書に関する問い合わせ先

大阪市 こども青少年局 企画部 企画課

〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号

電話：06-6208-8337 FAX：06-6202-7020

Eメール：fb0002@city.osaka.lg.jp